

# たんぽぽだより

2023年 1月号



## あけましておめでとうございます

### 今年も子どもたちが健やかに育ちますように

今年も保育サロンたんぽぽをよろしくお願いいたします。

“こどもはかぜのこ”と昔の人は言っていますが、たんぽぽの子ども達も寒さ知らず、早速外へ出かけていきました。今年も子ども達の元気に負けず楽しいときを過ごしていけたら嬉しいです。

さて保育士の子ども達に対する人権を無視したような対応が、ニュースになっていますが、まだ戦後の古い一斉保育方法から抜け出せない保育士が、一定数居るようです。時代は、変化していて保育士も常に学ぶ姿勢が必要なのです。たんぽぽでは、一人一人を大事にする保育心理士の考え方をベースにした保育を行っています。(20年ほど前に立ちあげた個性を大事にする保育の考え方です)

しかし小さい子を一斉に見ようとなると、やはり大変な仕事です。保育士1人に対する子どもの数は、**0歳児で3人、1、2歳児で6人、3歳児で15人**と保育士でなくとも、どれだけ大変かはお理解いただけるのではないかと思います。個性を大事にする上で、**1対1の対応が必要な子やそんな時期**がたびたびある事を考えれば、人が足りないことをご理解いただけたら有り難いです。

この保育士一人当たりの人数やまた保育士のお給料に関しては、大事な大事な子どもさんのいのちを預かる仕事内容に見合っていないという事も報道されてます。

保育士として働きたいという若い人材がなかなか出てこないのもこんなことが原因であると思います。たんぽぽは【子どもが大好き】との強い思いの職員ばかりです。

**そこでお願いが有ります。**

以上のようなことを保護者の皆さんに声を上げていただきたいのです。**保護者の皆さんの声で、保育制度が変わる事は大いにあります。**(数年前実際に待機児童問題が変わったのは一人のお母さんの「保育園落ちた」のつぶやきから変わりました。)今はSNSで誰でも発信できます。

いのちよりも大事なお子さんを預ける保育園をもっともっと良くしていくためには、悪い所を上げてそれをたたきただけでは変わりません、親として安心安全な保育園が保障されるようにぜひ発信してってください。**保護者の皆さん一人一人の声が次の日本を担っていく子ども達を育てるのです。**

これは間違いありません。どうかどうかよろしくお願いいたします。

おねがい

・早寝(21時迄には)早起き(7時迄には)あさごはん  
(ごはん・味噌汁)を心がけて下さい。

保育サロン  
たんぽぽ

12月の苦情・ご提案については、特にありません

## 今月の目標:季節の行事を楽しむ。～寒さに負けない元気な身体作り～

**つぼみ組【0歳児】**：お正月遊びに興味を持ち友だちと一緒に楽しむ。自分の持ち物がわかり、身の回りの片付けをしようとする(1歳半以上)

保育者とのあたたかな関わりの中で安心して過ごす。(1歳半未満)

**もも組【1歳児】**：生活の流れがわかり、身の回りのことを自分でやってみようとする。冬の自然に触れたり、お正月遊びをしたり保育者や友達と関わりながら遊びを楽しむ。

**ゆり組【2歳児】**：友だちといっしょに遊ぶ楽しさを味わい、充実感を得る。お正月の風習や遊びを楽しむ。

## 1月の保育内容

### 養護

**つぼみ組**：お正月遊び、ごっこ遊びを友だちと一緒に楽しんだり生活の中でお友だちや保育者のしていることを真似して遊ぶ。指差しや単語などで自分の欲求を伝えようとする。

**もも組**：正月休み明けで甘えたい気持ちを十分に受け止め、子どもたちの生活リズムを把握し無理なく過ごせるようにする。室内外の温度差に注意し、快適に過ごせるように温度調節をする。

**ゆり組**：手洗いを積極的に行い、寒い季節を健康に過ごす。休み明けの不安な気持ちを受け止めてもらい、園生活のリズムを取り戻す。

### 教育

**つぼみ組**：紙パンツに排尿した不快を感じ交換してもらい心地よさを感じる。意欲的に食器を使って食べようとしたり、手掴み食べと並行して様々な食材を食べてみようとする。友だちに關心をもち真似したり、様々な玩具を使って一緒に遊ぶ楽しさを知る。絵本の中の言葉を身振り手振りしながら、保育士と一緒に、繰り返し真似して楽しむ。探索行動の範囲が広がり、色々な場所を歩いたり、天気の良い日は外に出て、雪を見たり触ったりして、冷たい感触や冬ならではの季節を楽しむ。

**もも組**：手づかみ食べが少なくなり、こぼしながらも最後まで自分で食べようとする。オムツが濡れたり尿意を感じたりすると、保育者に仕草や簡単な言葉で伝える。身の回りのことを自分でやってみようとする。保育者や友達と一緒に遊びを楽しむ中で、見立て遊びやごっこ遊びを通して簡単な言葉のやり取りを楽しんだり友達との関わりを深め、相手の気持ちを知ろうとする。雪や枯葉、氷など冬の自然に興味を持ち触れて遊ぶ。様々な素材(シール、花紙、折り紙、粘土等)に触れ、指先を使う遊びや製作を楽しむ。季節の歌を歌ったり手遊びをしたり、リズムに合わせて楽しむ。

**ゆり組**：七草粥や鏡開きなどを通して、伝統食に興味を持ったり、その日のメニューや食べる事に興味・関心を持ち、楽しく食事をする。冬の気候を身体で体感し霜や氷など冬ならではの自然にふれて元気に身体を動かして遊ぶ。尿意を感じて自発的にトイレに行こうとする。友だちと一緒に簡単なルールのある遊び(しっぽとり、かくれんぼなど)を楽しむ。簡単な言葉で自分の思いや経験したことを表現し、話を聞いてもらう充実感を味わう。製作や普段の遊びを通してお正月の風物詩にふれ、関心を持つ。のりや折り紙などを使い、自由に表現しながら製作する。好きな音楽に合わせて楽器を鳴らしたり、身体を動かしたりすることを楽しむ。

1月の歌 たこのうた♪ 雪 ゆきのぺんきやさん 他